# 議会だより おぶせ

No 98
2019.10.20
発行 長野県小布施町議会

秋空　本日は晴天なり
えいえい　オー ▶

◆どう使った？決算51億円・審査の総括 …… P 2～3
◆決算審議　議会が認定！ …… P 4～5
◆補正予算・条例改正・人事案件 …… P 6
◆新たな議会活性化検討特別委員会の設置
　マニフェスト大賞小布施町議会広報優秀賞 …… P 7
◆町政を問う！12人が登壇 …… P 9～20
◆議会日誌 …… P21

## 議会傍聴記

### 活性化に向けて

押羽　八代　雅彦

九月五日、六日と開かれた九月会議の第二日目に傍聴させていただきました。

傍聴人は、私の他に一人だけで、あわせて二人だけでした。選挙の時に、無投票問題でテレビで放送された時は「議会の活性化」とかいろいろな意見が出ていたような気がしたので、テレビに出演していた人が二～三十人はいるのではないかと思っていたので、ちょっと驚きました。

傍聴した一般質問は、関良幸議員の「フラワーセンターの現状と今後の展望について」です。地元の施設ということもあり、興味深く聞きました。売上や施設の有効活用などの質問・答弁があり、「売上増を図り、北部地域の賑わいの創出にもつながるので、特売日を設けたらどうか」との再質問には、「よい提案なので、ぜひ実現したい」との町長の答弁がありました。北部の活性化にもつながると思うので、早期の実現をお願いしたいと思います。

そのほかの質問として、寺島議員の「プログラミング教育…」なども聞きたかったのですが、別の用事があり残念な気持ちのまま議場を後にしました。

フラワーセンター

### 議場に出向いて…

中町　矢島　篤

今年の春にNHKで、地方議会の議員なり手不足の特集番組がありました。

たまたま小布施町も話題となっており、たまたま顔見知りの方が登場していて、つい見入ってしまいました。

小布施町議員の無投票の話は知っていましたが、全国区の話題になると少しは気になりまして、とりあえずは議会の見学程度はしてみようと、殊勝な考えが浮かびました。

ところが議会の開催日も分からない状態でしたので、僅かな仕組みの改善を申し込みつつ、今まで2回傍聴させていただきました。

そして、質問には答えるという当たり前の光景をみて、国会のような権力側による議論の破壊行為もなくて良かったと思うと同時に、ギャラリーが多いほうが議員さんも張り合いがあるのではないかとも思った次第です（未確認ですが……）。

こちらは単に傍聴席を埋めて聞いているだけでして、私のようなジイさんには枯れ木も山の賑わいと思えば、議場も気は楽です。

お茶は出ませんが（笑）、議場からの景色は good ですよ。

### 編集後記

暑い日が過ぎ、収穫の秋になりました。これから小布施町も六斎市をはじめ、様々なイベントで賑わいをみせます。9月議会は決算審議が中心でした。税金が有効に使われ成果を上げているかという視点で審査し、その結果を今号でお知らせしました。来年度の予算についても要望書を出しますが、それは次号でお知らせします。

次号は、1月20日発行です。議会での活動を皆さんにわかりやすくお伝えするよう、また町民の皆さんの感じていることなどもお聞きし、編集していこうと思います。

**発行責任者**
議　長　関　悦子
**議会広報常任委員会**
委員長　中村　雅代
副委員長　竹内　淳子
委　員　関　良幸
〃　小渕　晃
〃　関谷　明生
〃　渡辺　建次
〃　関　悦子

■発行/長野県小布施町議会　■編集/議会広報常任委員会　〒381−0297　長野県上高井郡小布施町大字小布施1491−2 ☎(026)214−9112　■印刷/松本印刷

# 平成30年度 決算

## 「住民福祉の向上のため」に予算が使われ、最小の経費で最大の効果があげられているかを審議！

## 監査委員の意見

### 将来を見据えた行財政の取り組みを

畔上代表監査委員

小渕監査委員

平成30年度の決算審査は、町の財務に関する事務の執行及び経営に関する管理等が住民福祉の増進、事務事業の効率性・経済性・組織及び運営の合理化等に努め、規模の適正化が図られているかを主に実施しました。

その結果、行財政事務運営は当初の予算・計画に沿い堅実に行われ、概ね健全なものと認められました。

審査過程での指摘事項の中で次の事項については特段の対応をお願いしたい。

(1) 今後、公共施設の老朽化に伴う長寿命化が大きな課題となっており、予定されている修繕工事等で多大な経費が必要と予想される。また、少子高齢化などによる扶助費をはじめとする社会保障費が増加傾向を示しており、加えて、人口減少による歳入減少が見込まれることから、更に厳しい財政運営が続くと思われる。将来展望を見据えた財政の構築を図っていただきたい。

(2) 役場の組織は今後数年間において、管理職職員の多数が定年による退職が見込まれており、加えて保健師、保育士等の医療福祉や子育てサービスの担い手不足は慢性的な課題である。役場全体の今後の行政運営の適正化を喫緊の課題として捉え、積極的に取り組まれたい。

(3) 日々変化する現代社会に対し、行政サービスを遂行するにあたっては、思いやり、誠実な対応、感謝の気持ちといったことは非常に大切なことと考える。踏まえて良好な職場環境を築き上げ、多種多様な政策を自主的・総合的に推進されたい。

## 決算特別委員会 審査の総括

平成30年度決算審査にあたっての基本的な姿勢はこれまでと同じく町が掲げる下記の６項目の重点施策につき、各事業が町民の福祉向上の視点に立って進められているかどうかであり、細部にわたり審議いたしました。

**平成30年度重点施策の成果・概要**

1. 健康と福祉の充実
2. 相談支援体制の充実
3. 子育て環境の充実
4. 協同と交流・地方創造
5. 活力ある産業の創出
6. 地域の安全と安心の推進

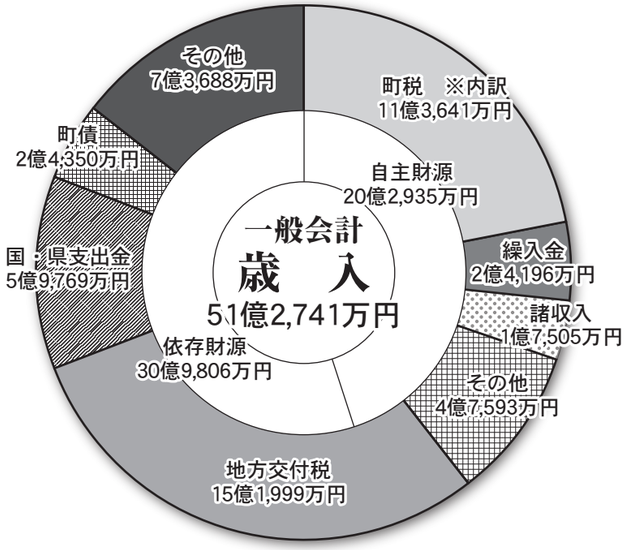
千年樹まつりにゲスト出演の北斎太鼓の皆さん



# 平成30年度 一般会計歳入歳出決算 51億2741万円

（前年比0.02%減）

## 歳入歳出差引額は、2億5842万円の残

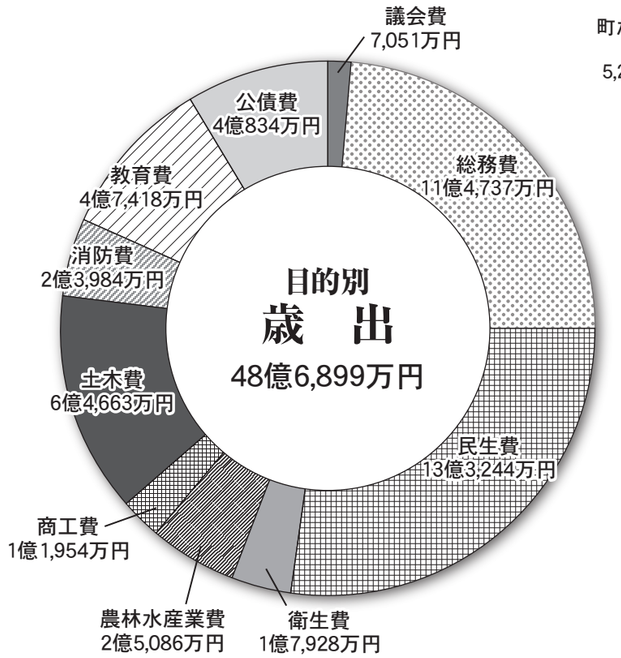


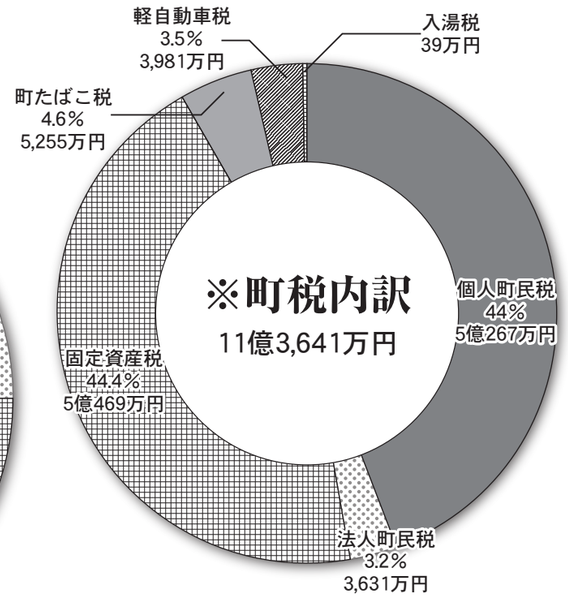

## 9月会議のあらまし

９月議会は、９月２日から20日までの19日間開催しました。

提出された議案は、全部改正条例一件、一部改正条例一件、令和元年度一般会計及び特別会計の補正予算七件、平成三十年度一般会計及び特別会計等の決算認定八件、町道路線の認定一件の計十八件で、いずれも原案のとおり可決、認定しました。

最終日に、教育委員の任命と人権擁護委員の推薦があり、いずれも同意、適任としました。



# 決算審議　議会が認定!!

## 決算特別委員会　第二分科会
（健康福祉課・教育委員会）

### 平成30年度一般会計

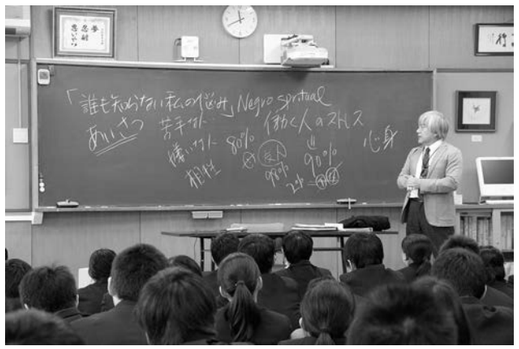
**民生費**

Ⓠ　窃盗犯、知能犯に対してどのような対応をされたか

Ⓐ　防犯指導員が地域のパトロールを実施。車上の鍵が掛かっていないか、また家の施錠がされていないことをカードで知らせ、被害に遭わないようにしました。

Ⓠ　福祉医療費の窓口無料化による影響と、また県からの補助金は

Ⓐ　給付額は若干伸びていますが無料化が影響かは定かでありません。県からの補助金は実質給付分を頂いています。



小布施中学校3年生ＳＯＳの出し方研修会

**衛生費**

Ⓠ　引きこもり支援事業の具体的な成果は

Ⓐ　職員にはゲートキーパー養成研修、小布施中学校３年生SOSの出し方研修、こころ健康づくり講演会を実施。引きこもりの相談は少なく、また、家族に断られることもある。

Ⓠ　乳幼児健康審査受診率100％でないが

Ⓐ　母子手帳をお渡しした後、保健師が顔をつなぎ相談に当たっています。

**教育費**

Ⓠ　習熟度別学習の状況と成果は

Ⓐ　習熟度に応じ生徒の希望にそった通常の学習では分からないことも基礎的なことから学び理解度が高まったと考えています。

**国民健康保険特別会計**

Ⓠ　高額療養費の内訳は

Ⓐ　自己負担額を超えた療養費を保険で支払う制度です。糖尿病で透析するなどで高額費用がかかります。

**介護保険特別会計**

Ⓠ　介護予防事業IADL訓練事業とは

Ⓐ　手段的日常生活動作で頭を使って判断する動作。買い物や服薬管理、電話の応対などが該当します。

### 本会議で賛否が分かれた議案

下記以外の議案は
全議員賛成で認定・議決しました

賛=賛成，反=反対，（議長は裁決に加わらない）

| | | 寺島弘樹 | 水野貴雄 | 関良幸 | 竹内淳子 | 中村雅代 | 福島浩洋 | 小林一広 | 小西和実 | 大島孝司 | 小渕晃 | 関谷明生 | 渡辺建次 | 小林正子 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算認定 | 平成30年度一般会計歳入歳出決算 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 |
| | 平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 |
| | 平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 |
| | 平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 |



# 平成30年度　行政・経済 効果をチェック

## 決算特別委員会　第一分科会
（総務課・企画政策課・産業振興課・建設水道課）

審議している委員会の様子

東大先端研活動報告会

### 平成30年度一般会計

**歳入**

Ⓠ　法人町民税・固定資産税の昨年比減額になった理由は。

Ⓐ　法人数は12社増えたが均等割が３ポイント増え、法人税割が３ポイン減の構成比になったため。固定資産税減は固定資産評価替えによるためです。

**総務費**

Ⓠ　ホームページの保守管理委託と業者選定の内容と方法は

Ⓐ　保守管理の他にサーバーもお借りしており、その管理も含めたものです。業者選定は見積により公平に実施しています。

Ⓠ　官学協働事業費における事業費の内容は

Ⓐ　東大先端科学技術研究センター、慶応大学SDM（システムデザインマネジメント研究科）、SFC（湘南藤沢キャンパス）との協働により、町の課題解決や地域活性化につながる研究やプロジェクトに取り組む。

**農林水産業費**

Ⓠ　新しい農業のあり方策定プロジェクト支援の内容は

Ⓐ　プロジェクトに参加した農家集団「おぶせファーマーズ」が結成され、そのプランニング業務を支援しました。

**商工費**

Ⓠ　パークアンドウォーク（車は郊外に駐車し町の中は歩いて移動する）の考え方から総合公園南側駐車場の利用状況は

Ⓐ　秋の行楽時土日祝日は満杯になっています。シャトルバスの利用者の一番多いのが小布施駅、次がハイウェイになっています。

**土木費**

Ⓠ　河川公園仮設トイレの掃除・汲み取り等の管理は

Ⓐ　緑の管理人にお願いし、桜の時期は毎日見回っています。

**消防費**

Ⓠ　小布施分署救急車配備の購入価格は

Ⓐ　3,475万円で須坂市消防本部に委託費として支出し、管理は町で行います。

# 7月会議

7月17日に7月会議を行い、条例の一部改正1件、補正予算2件を審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。

## 条例の一部改正

○小布施町資金積立基金条例の一部を改正する条例

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律と森林経営管理法が、平成31年4月1日に施行されたことに伴い、森林環境譲与税を積み立て、森林整備に要する十分な財源を確保することを目的として「小布施町森林環境整備基金」を設置する条例の一部改正を行うもの。

## 補正予算

○一般会計補正予算　9,694千円
- 児童福祉総務費―幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修　3,057千円
- 清掃費―小型家電収集運搬委託料　756千円
- 林業総務費―森林環境整備基金積立金　601千円
- 公共下水道費―下水道事業特別会計繰出金　5,280千円

○下水道事業特別会計補正予算　5,280千円
- 施設管理費―北岡・横町マンホールポンプ修繕　5,280千円

# 9月会議

9月2日から20日まで9月会議を行い、条例改正2件、補正予算7件、決算認定8件、その他認定1件を審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。条例改正・補正予算については、次のとおりです。

## 条例改正

○小布施町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について

幼児教育、保育の無償化の取組を加速するための「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」及び関連政令等の改正に伴い、子ども・子育て支援給付の対象となる教育・保育施設や地域型保育事業の運営に関する基準について定める条例について、国の基準と同様の改正を行うもの。

○印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令により、氏に変更があった者は、住民票に旧氏の記載を求めることができることとなることに伴い、印鑑登録にも旧氏が用いられるようになることから、条例改正を行うもの。

## 補正予算

○一般会計補正予算　466,559千円
- 財産管理費―財政調整基金積立金・大規模建設事業資金積立基金積立金・ふるさと応援基金積立金　272,352千円
- 賦課徴収費―固定資産税還付金　1,700千円
- 高齢者福祉費―養護老人ホーム入所措置費・介護保険特別会計繰出金　2,644千円
- 健康福祉センター費―高圧電気設備修繕　1,109千円
- 道路維持費―町道舗装修繕工事・町道補修工事　33,100千円
- 道路新設改良費―測量設計委託料・道路改良舗装工事・道路用地購入費　12,462千円
- 橋梁維持費―橋梁暗渠修繕工事　1,940千円
- 河川水路維持費―水路修繕・U字溝グレーチング等　2,426千円
- 水路新設改良費―水路新設改良工事・測量設計委託料　31,500千円
- まちづくり総務費―国道403号整備関連照明イベント経費等　1,608千円
- 学校管理費（小学校）－備品購入費・修繕料等　2,184千円
- 学校管理費（中学校）－備品購入費　1,000千円
- 図書館費―一般図書購入　1,000千円
- 体育施設費―総合体育館ＬＥＤ照明改修工事　12,600千円
- 元金（繰上償還元金）　58,500千円

など

○国民健康保険特別会計　14,931千円
○後期高齢者医療特別会計　368千円
○介護保険特別会計　29,826千円
○下水道事業特別会計　114千円
○農業集落排水特別会計　2千円
○水道事業会計―収益的支出　979千円
　　基本的支出　226,848千円

**その他**　1件
**専決処分の報告**　3件
**人事案件**　2件
**新たな議会活性化検討特別委員会の設置・選任**



# 【新たな議会活性化検討特別委員会】設置！

議会では、過去3回の町議会議員選挙が無投票になったことを踏まえて、その都度特別委員会を設置し検討してまいりました。平成23年、平成27年は議員間での構成、平成30年には公募をして町民10名を加えての特別委員会でした。

今回は「新たな議会活性化検討特別委員会」として、議会の在り方を様々な角度から模索し検討を進め、議会改革、議会活性化のステップアップを図ってまいります。

委員会構成メンバー

委員長　小林一広　　副委員長　小渕　晃
委　員　大島孝司　福島浩洋　中村雅代　関　良幸　竹内淳子

## 議会選挙などの状況

| 選挙日 | 立候補状況 | 投票率 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| H３年４月 | 立候補者数19人（選挙） | 91.24% | 定数　18人 |
| H19年４月 | 立候補者数17人（選挙） | 77.12% | 定数　14人 |
| H23年４月 | 立候補者数14人（無投票） | － | 議員定数等検討委員会　定数維持 |
| H27年４月 | 立候補者数14人（無投票） | － | 議員定数等検討委員会　定数維持 |
| H31年４月 | 立候補者数14人（無投票） | － | 議員なり手不足検討委員会 |

## 今までの議会活性化の取組み

○通年議会の導入……定例会の会期を１年とする（H22.3～）
○政策立案常任委員会・議会広報常任委員会の設置……常任委員会を４部門に（H23.4～）
○一般質問を対面方式、一問一答方式に……一問一答で分かりやすく
○議会基本条例制定……（H24.10～）
○正副議長選出は本会議で所信表明を実施……議員の決意を表明する（H25.5～）
○反問権の付与……執行部からの質問を可能にする
○議会報告会の開催……町民への報告と意見交換会の開催
○町への予算要望書提出……町から文書による返答

## マニフェスト大賞推進賞議会部門

2015年（平成27年度）の町議選が無投票だったことを受け、議会だよりに各議員の公約等を掲載する取り組みを始めました。今年の４月の町議選も無投票に終わったため、７月号に「幻の選挙公報を公に」と掲載したことが評価されました。

マニフェスト大賞とは、2006年に始まり、地方自治体の首長、議員、市民活動の実績を評価、表彰し、更なる政策提言を促すためのものである。

## 人事案件に同意　適任

① 教育委員

小林　潔氏〔再任〕
任　期・4年間
住　所・大鳥

② 人権擁護委員

竹内　宏美氏〔新任〕
法務大臣への推薦
任　期・3年間
住　所・山王島

## 9月会議 一般質問

目　次


寺島　弘樹……9
⑴プログラミング教育及び「5G」を見据えた環境整備について
⑵職員からの主体的な政策提言の実施及び自治体シンクタンクとしての小布施町政策研究センター（仮称）の常設について

小林　正子……10
⑴2020年は戦後75年に当たり、社会教育・小・中学生への平和教育を進める計画は
⑵第1期障がい児福祉計画の成果目標に対する進捗状況は

小渕　　晃……11
⑴千曲川堤防の桜堤の更なる充実を

関谷　明生……12
⑴小布施町キャッシュレスタウンの発想と道筋は
⑵小布施中学校夏山登山復活の動機

渡辺　建次……13
⑴保険者機能強化推進交付金算定のための市町村評価指標について
⑵「いやし」としてのペットと共生しやすいまちづくりについて
⑶全国学力調査からみた英語教育の課題は
⑷新制度下における「ふるさと納税」について

小西　和実……14
⑴まちイノベーションHUBの現状について
⑵フィンランド・トゥルク市との姉妹都市の締結の可能性は

中村　雅代……15
⑴会計年度任用職員制度導入に向けて

関　　良幸……16
⑴フラワーセンターの現状と今後の展望について

竹内　淳子……17
⑴猫の去勢、不妊手術（繁殖制限手術）費用への助成について
⑵小布施町の学校給食における地元野菜の利用状況と供給体制について

福島　浩洋……18
⑴低区配水池（雁田）更新計画実施について

大島　孝司……19
⑴小布施町公共施設等総合管理計画の進捗状況は

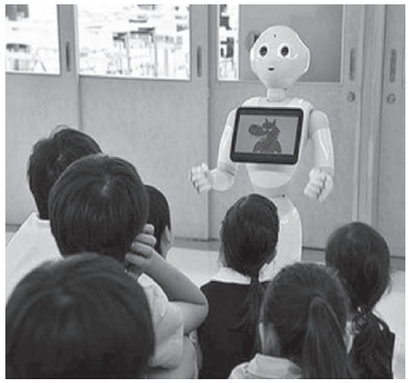
小林　一広……20
⑴高齢者ドライバーに向けた取り組みについて
⑵現在の非常用電力の状況と庁舎への活用について

寺島弘樹議員

# プログラミング教育に関する他機関との連携や準備状況について

**小学校で職員研修等により理解を深め、中学校ではロボット教材の活用により学習しています。大学を含めた他機関の連携は大切で今後検討します**

中島教育長



**Q**　プログラミング教育に関しては、2020年度からの小学校での必修化、及び翌21年度は中学校で開始されます。

当該教育の狙いは論理的思考を養い、コンピューターが社会を支えることを学ぶことであり、アルゴリズム（演算処理の手順）の習得を目的とした新しい学力観であるとの位置付けと言われています。

デジタルデバイドといわれるような学校や地域間での格差拡大を引き起こさないためにも、速やかでかつ周到な準備が必要です。

このことから、当該教育に関する他機関等（外部の支援、大学との協力体制等）との連携の必要性の有無や準備状況について伺います。併せて、次世代通信規格「5G」を見据えた教室の環境整備も課題であり、デジタル通暁世代に必須の環境整備と思料するところですが、お考えを伺います。

**A**　小学校では職員研修として、プログラミング教育の手引きの勉強会や、ソフトウェアによりプログラミング的思考への理解を深めています。また、小布施中学校では既にロボット教材を活用した学習を行っています。

プログラミング教育に関する大学等を含む他機関との連携は重要なことと考えています。今後は、小布施町と交流のある企業や大学等の協力を得て、教育環境と体制の充実を図っていきます。

次世代通信規格「5G」については、学校の設備の導入や更新に当たり利用等を検討していきます。

**職員からの主体的な政策提言の実施及び自治体シンクタンクとしての小布施町政策研究センター（仮称）の常設について**

市村町長

**政策提言等について、町民との関係性、人的ネットワークの関与が重要と考えています**

**Q**　変化する時代（AI・IOT、人生100年時代等）の中で、現状維持はよく「後退」とも言われます。2点ほど申しあげます。①町民の皆様から何を望まれているかを常に意識し、要請に的確に応える。②社会の環境変化に敏感に対応し、前例踏襲に陥ることなく、改善・改革に取り組む。

このための仕組みを次のように考えます。

→各職員の異なる視点での自由かつフラットな討議での政策提言。

→プレゼンテーション形式により報告会という場において発表。

→町長は、政策提言アドバイザー（仮称）とともに政策提言を評価。

→高評価の提言は次年度予算化等。

今後、町長直轄の自治体シンクタンクとして、小布施町政策研究センター（仮称）を付置することも併せ考えては。

**A**　議員の一歩進んだ提案については、認識を共有しています。施策の改善については町政懇談会などにおける貴重な御意見、御要望等を予算化するなど対応を行っています。また、職員の働き方改革等を含め、民間感覚を養うため町内外企業等との結びつきも強めています。今後も職員の研修派遣を継続し提言を施策として実行する力も期待するところです。シンクタンク設置に向けては、既に様々な企業や大学等との連携を行うなど、その機能を果しており、設置は考えていません。

小林正子議員

林健康福祉課長

# 児童発達支援センター来年度末開設、進んでいるか 保護者の切実な声に応えていただきたい

## 須高の検討始まってない。相談し進めます

**Q** 児童発達支援センターは、須高地域で体制整備をするということでしたが、保護者の皆さんは小布施の町内に設置してほしいと強く望んでいます。

**A** 子どもの発達支援や家族を支援する役割があり、設置を望む声は町にも寄せられています。どのくらいの財政負担が必要になるか、町単独での設置、運用が可能か、須高地域でどのような設置が利用者の皆さんにとってよりよい形となるのか検討し、進めてまいります。

**Q** 発達支援事業及び放課後デイサービス事業所の確保についても、小布施町内での整備、受け入れを強く望んでおります。ぜひ町内での受け入れを進めていただきたい。

**A** サービス事業所は民間事業所。町としても開設を予定している事業者や意欲のある事業者に設置してもらえるよう働きかけ、空き家等の施設の紹介などの支援を行っていきます。

**Q** これら発達支援センターの体制整備は2020年末までに進めることとなっており、保護者の皆さんも強く望んでいます。計画は検討されているのですか。

**A** 須高広域の会議はまだ開かれていません。

課長は保護者の皆さんの会にも参加され、切実な声をしっかり受け止めておられるはず。町単独は無理としながら、須高の話合いすらされていないのは遺憾。2020年末に間に合うよう、しっかり進めていただきたい。

**A** 課内でよく相談し、進めてまいります。

# 戦後75年の節目

三輪教育次長

## 小中学生の平和記念式典派遣を検討

**Q** 来年2020年は戦後75年の節目。広島・長崎・沖縄への小中学校の修学旅行など、全国各地で平和教育が取り組まれています。小布施ではどうですか。

**A** 主に教科の学習で扱っています。中学では、3年生の歴史分野の戦争を扱う場面で平和の大切さを学習しています。

広島や長崎の記念式典に小中学生の代表を派遣することもいいのではないでしょうか。諏訪市などで実践されています。感受性の豊かな時期に平和の大切さを身を持って学ぶことは必要です。

**A** 中野市が中学生代表を派遣しています。生徒が記念式典に参加し、戦争体験者から話しを聞くことなど大変意義深いと思います。派遣について検討しています。

**Q** 来年はオリンピックの年。「おもてなし」や「伝統」「国威発揚」だけ宣伝されるが、オリンピックは本来「平和」の祭典。町民の皆さんに平和の大切さを再認識してもらえる取り組みを。

**A** 生涯学習講座など、平和の大切さを考え、再認識できる機会をつくっていきます。

長崎　平和祈念像

小渕　晃議員

畔上建設水道課長

# 千曲川の桜堤の更なる充実を

## 後世に桜堤を引き継いでいけるよう管理をしてまいります

**Q** 今年の春も千曲川堤の桜が北信五岳を望み見事に咲き、併せて河川敷の花桃・菜の花も咲き競い北信濃の春を演出してくれました。地元の方は勿論、観光バス、高速道の利用の方と多くの花見客で賑わい、長野県下の桜の名所の一つとなりました。

千曲川桜堤の桜は　新しい観光スポット

桜は「ソメイヨシノ」が主流の中、あえて開花時期が遅くゴールデンウィークに満開になる「八重桜・一葉」という品種をオーナー制で植栽されました、20年前の関係者の知恵・先見性が、我が町に大きな財産を残してくれました。

① 全長約4キロに約530本の桜が植栽されている土地が千曲川の右岸堤防の「のり面」という特殊の場所ゆえに、国交省千曲川河川事務所との関わり方はどのようになっているのですか。

② 地元の皆さんのご尽力でリバーサイドパークで「ふれあい公園花祭り」が毎年賑やかに開催され好評ですが、4月29日の1日だけのイベントです。せめてお花見の期間中（ゴールデンウィーク）は缶ジュース等の出店はできないのですか。

③ 植栽されて20年以上になり隣の木の枝と枝が混み合い、日陰の枝は枯れています。将来に亘って益々立派な桜堤にするためには今から計画的に「剪枝・間伐」をする必要があると思いますが如何ですか。

④ 高速道際の桜の木は消雪剤の塩化カルシウムの飛散で木の成長が良くありません。また埋土の土壌と適合をせずに枯れた木もあります。今後オーナーの「ネームプレート」の更新は

⑤ 桜堤のために小布施町が負担している維持管理費は。また現在、電灯・水道・簡易トイレ（約5台）・木製ベンチ（約7脚）が設置されていますが、開花シーズンの増設の計画は。

**A** ① 桜堤の土地は千曲川河川事務所より町で有効活用できないかとの話をいただき、占用（無償で借用）させていただいています。

② 出店については、固定ではなく移動販売的なものであればと思います。

③ 将来を見据えて後世に町の名勝地としての桜堤を引き継いでいけるように、管理方法について専門家も交えて検討をしてまいります。

④ 「ネームプレート」のあり方は今後の管理方法の検討と合せて対応をしていきます。

⑤ 桜堤の管理費用は、緑の管理人の賃金を除き、除草業者委託費が111万円、仮説トイレの借り上げ料36万円、黄金島（菜の花畑）の管理委託料10万円、その他菜種代や菜の花畑の耕運費用などです。

「八重桜・一葉」の豪華な花

ベンチ等の設置数の見直しは検討してまいります。

関谷明生議員

# 小布施町キャッシュレスタウンの発想と実現に向けての道筋・キャシュレス決済普及率・参加事業者の具体的な数値目標は

## 町内のキャッシュレス決済40％と加盟店登録は100事業者を目標に実現を目指します。

西原産業振興課長

**Q** 令和元年10月1日の消費税10％引上げに伴い需要平準化対策としてキャッシュレス対応による生産性向上や消費者の利便性向上の観点も含めてキャッシュレス消費者・還元事業が実施されます。

国では世界的なキャッシュレスの流れを踏まえ、キャッシュレスを通じたデータの利活用により、国全体の生産性が向上し、実店舗等、消費者、支払いサービス事業者がそれぞれ付加価値を享受できる社会の実現を目指していくことが必要と考えています。

本町もこの流れを背景にキャッシュレス決済に取り組む「小布施キャッシュレスタウン・プロジェクト」を7月19日に町商工会、長野信用金庫の連携事業として発足し、キャッシュレス払いの決済機器無償導入、5％消費者ポイント還元、決済手数料補助などの優遇が受けられる補助事業を活用してキャッシュレス・タウンを目指すとしています。キャッシュレス決済の目標普及率、参加事業者の参加目標をどのように考えていますか。

キャッシュレスに向けたチラシ

**A** キャッシュレス決済の目標普及率は政府目標であるキャッシュレス決済率40％を小布施町でも実現することを目標とします。ただし、決済に占める比率を正確に把握することは困難であるため参加事業者を商工会加盟者4割の100事業者を加盟店として登録を目指します。

## 中学校夏山登山復活の動機は

中島教育長

### 学校登山は貴重な体験の場であり、基本的には学校登山を継続していく。

**Q** 本年7月17日2年生全員が参加する夏山登山を3年ぶりに復活し標高3026メートルの乗鞍岳に登頂しました。この2年間は身体面、安全面を考えて1泊2日の八ヶ岳自然体験に切り替え、牛の乳しぼり、木工、木の伐採などを行ってきました。

登山の魅力は色々ありますが、日常の生活とは異なる雄大な自然の中で、新たな経験を積み困難を乗り越え目標を達成することの充実感を味わうことです。学校登山をぜひ継続すべきと提言します。

**A** 地域の人や生徒、保護者から登山を希望する意見があり、中学校とコミュニティ・スクール運営委員会で、学校行事について再検討し、全ての生徒が参加できる登山を前提に、実施していくことになりました。

信州に暮らす私たちにとって山や川は大切にすべき資源で、学校登山は貴重な体験の場であり、基本的には継続していきたいと考えています。

乗鞍岳：飛騨乗鞍観光協会提供

渡辺建次議員

# 保険者機能強化推進交付金算定のための市町村用の指標について

## 高齢化率は高いが要介護認定率が低いこと等が特徴

林健康福祉課長

**Q** 平成29年地域包括ケア強化法において、高齢者の自主支援・重度化防止等に向けた保険者の取組や都道府県による保険者支援の取組が全国で実施されるよう、PDCAサイクルによる取組が制度化され、その一環で、自治体への財政的インセンティブとして、市町村や都道府県の様々な取組の達成状況を評価できるよう、客観的な指標が設定されました。地域包括ケア「見える化システム」を活用しての介護保険事業の特徴は。

**A** 高齢化率は高いが要介護認定率は低い。在宅サービスの利用は比較的多く、グループホームの利用が多いことが特徴です。

**Q** 介護予防事業の場へのリハビリ専門職の関与の度合いと65歳以上の参加者数は。

**A** 「リハビリ専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）のかかわりは少なく、健康運動指導士や保健師等がかかわっています。65歳以上の参加者の各事業の実人員は、473人です。

全国平均56％です。「話すこと」は27．3％で全国平均30．8％より低いです。「英語で問答をする」という要素を増やしたい。

## 「いやし」としてのペット（犬）と共生しやすいまちづくりについて

永井健康福祉課長補佐

### ドッグランの増設等は考えていません

**Q** ペットを飼育することによる「いやし」効果によって、病院での受診回数が年間20％減少するというデータがあるそうです。ペットとして第一にあげられるのは犬です。犬が穏やかに過ごしている時、人はリラックスすることができ、それが「いやし」の始まりとも言われているそうです。まさに犬は「いやし」の神秘的な力があると言われるゆえんです。犬は英語でdog、逆に読むとgod、すなわち神です。言いえて妙と言わざるを得ません。そのような犬のため、愛犬家のために、散歩の推奨コースの設定やドッグランの増設は考えられないでしょうか。

**A** 糞尿などの問題が生じる恐れが懸念されることから、いずれについても考えられません。

## 全国学力調査からみた英語教育の課題は

中島教育長

### 英語での問答を増やしたい

**Q** 小布施中学校の英語の正答率と「話すこと」の正答率の低い原因と、それに対する対策は。

**A** 小布施中の英語「平均正答率」55％、県平均54％、

## 新制度下における「ふるさと納税」について

須藤企画政策課長

### 国の趣旨に沿った運用を心掛けます

**Q** 小布施町の返礼品割合は、35．3％と公表されました。30％以下にするための見直しは。

**A** 総務省実施調査の長野県への回答35．3％という割合は、区別の困難さから返礼品割合と送料を含んだ額です。実際の回答では返礼品割合は、30％以下としていることを説明しています。

**Q** 小布施町から市町村へふるさと納税した方の状況は。

**A** 平成30年に、110名の方々が他市町村へ寄付をされ、個人住民税の税額控除額は452万1千円でした。

小西和実議員

# まちイノベーションHUBの現状について

## 須藤企画政策課長　自立した様々な事業展開を行っています

**Q** 小布施まちイノベーションHUBという法人組織が小布施町行政の主導で2017年に設立されました。

設立時には国からの地方創成に関する交付金を400万円使って立ち上げ、事務所を小布施町役場2階に設置し、代表理事1名、理事6名、事務局1名という人員構成でスタートしたと2017年当時に行政側から説明を受けています。しかし、町民の方からは一体何の組織なんだろう、何をやっているんだろう、活動がよく見えないとご意見をいただきました。

この組織を中心にさまざまな取組を行っていくという説明を受けていましたが、なかなか取組が住民のよい皆さんからは見えにくい状態であると見受けられます。

ホームページも2017年8月16日にイベントを掲載したのを最後に更新されていませんでした。

小布施町から事業運営を継承して実施することになっていた「小布施若者会議」も2017年の6回目以降にはもう開催されていませんが、どうなっているのでしょうか。

ここであらためて、設立の経緯とその後の経過についてお尋ねいたします。

**A** 小布施まちイノベーションHUBは、当時、町民の皆さんによる議論の中で、地域課題に継続的に取り組む組織が必要として設立された団体です。現在は、観光・教育事業、研修事業、視察受入、循環型社会の実現への取組、短編映画祭の開催など自立したさまざまな事業展開を行っています。

小布施若者会議については、7年間の取組を経て、当初の役割は民間ベースで引き継がれていると総合的に判断し、町主催では実施していません。

今後の連携に期待したいフィンランド・トゥルク市

## フィンランド・トゥルク市との姉妹都市の締結の可能性は

### 須藤企画政策課長　必要が生じた場合には、長期的な連携も検討してまいります

**Q** 小布施町は今年7月から2020年度末にかけて欧州連合が参加する「国際都市間協力プロジェクト」に参加し、フィンランド・トゥルク市と職員が相互に訪問して交流すると信濃毎日新聞ですでに報道されています。

昨年12月に一般質問で「国内外の都市などと姉妹都市の締結は」と題しまして、「これからの小布施町のまちづくりには、こういった発想の取組も必要であると考えられますが、現実的な実施可能性、必要性について現在の考えを明示してください」という趣旨で質問をさせていただきました。

小布施町が国内の魅力ある自治体あるいは海外の魅力ある都市や町村などと姉妹都市の提携を結ぶということも、小布施の魅力を作っていく上では良い取組になるかと考えられます。

この機会を活かしてトゥルク市と姉妹都市提携を結ぶなど、一歩踏み込んでより継続的な交流を検討することはできないでしょうか。

**A** 現時点では、交流内容の詳細についてトゥルク市と長野市、小布施町の三者で協議を行っている段階であり、まずは、本プロジェクトが充実したものとなるよう取り組んでいきます。今後、より継続的に交流していく必要が生じた場合には、長期的な連携も検討してまいります。

中村雅代議員

# 会計年度任用職員制度導入に向けて

## 久保田副町長　本制度の重要課題として効率化の観点を含め判断基準を作りたい

2020年4月1日を施行日とした地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、現行の臨時・非常勤職員は、会計年度任用職員制度に移行することになり、給付に関する規定を整備するなど所要の例規整備が必要となります。

そこで導入に向けての進捗状況、制度の構築をどのようにお考えか伺います。

**Q** 勤務実態の業務量、時間など現状把握はどうでしたか。

**A** 現況は嘱託35人、臨時45人、パート124人、合計204人です。

嘱託・臨時職員の勤務時間は7時間45分の週5日です。

パート職員は時間単位任用で職によって異なります。

**Q** 現状を踏まえ、フルタイム勤務とパート勤務の任用基準はどのように（恒常的な職につく会計年度任用職員はフルタイム勤務を原則とするなど）なりますか。

**A** 職の内容等を精査し効率化の観点も含め判断します。

任用する職種及び形態の具体的な運用の方針は（専門職はフルタイム勤務可など）。

**A** 現行の職種や形態はそのまま移行を予定しています。運用に当たっては再任用や継続する在籍期間などを検討します。

**Q** 給与水準・手当、休暇等の具体的設計は。

**A** 国のマニュアルや近隣市町村の内容等を踏まえ、最低賃金も見据え構築します。

**Q** 移行に当たっては、現在の労働条件を引き上げることを基本とするのですか。

また、現在働いている嘱託・臨時及びパート職員の雇用の継続は。

**A** 労働条件に関する給与・報酬は常勤職員の給料表を基準に定めます。休暇等は国が示す例を踏まえ検討します。

**Q** 総務省関連の報告書によりますと、昨年の12月1日現在で9割近くの団体が今年度9月までに議会提案を予定しているとのことですが、当議会への提案はいつになるのでしょうか。

**A** 現在関係する条例の改正作業を進めており、11月上旬には提案したいと考えています。

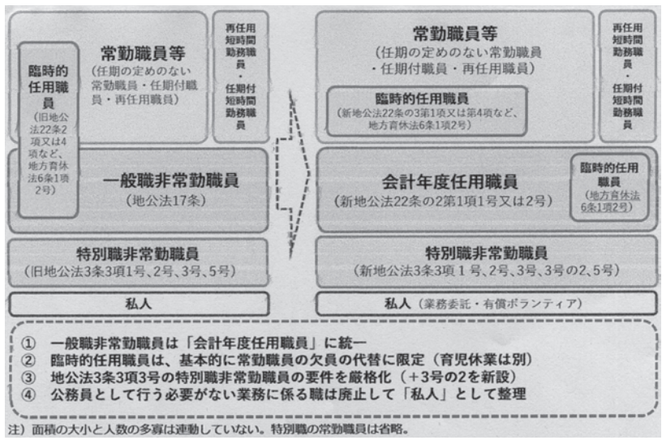
**Q** 町では保育士不足など大きな課題があるが、思い切った給与水準など設計しておられますか。

**A** 給料表を基準とするので、2年目は昇級します。期末手当も支給となります。現行より低くなることのないよう考えています。

**Q** 処遇改善のための財源確保について現行の地方財政計画では明示されておらず、地方交付税で確保するよう国に強く求めていく必要がありますが来年度の予算編成においてどうでしょうか。

**A** 現実問題として予算を組むとなると大変厳しい実情ですので、十分に検討していきます。

臨時・非常勤職員の任用根拠の明確化、適正化について



関　良幸議員

市村町長

# フラワーセンターの現状と今後の展望について

## 農業振興の拠点施設としての機能を充実させ、特売日を設けるなどして、売上増も図りたい

**Q** フラワーセンターは、花のまちづくりを目指す花の生産拠点として一定の役割を果たしているものと考えますが、開設から二十数年が経過した現在、当初の理念と現在の状況をどのように認識し評価しているか伺います。

**A** 開設当初の理念を継承しつつ、時代の要請に即した施設として変化もしており、新規就農者が研修する際に滞在できるよう改修も行い、花のまちづくりの拠点として、花生産を中心とした農業振興の拠点施設として機能していると考えています。

**Q** 昨年九月会議での、平成二九年度は約二五〇万円の赤字となっているがという一般質問に対し、「全国的に花苗需要が低迷傾向にある中で、消費動向が低調だったことが要因。今後は、質の高い苗生産と多品種育苗に応えることで、より広範な受注につなげたい」との答弁がありました。好転の兆しはあるのか、打開策について、現状の認識を伺います。

**A** 平成三〇年度は収入が約二六九七万円、運営費は約三一六三万円で約四六六万円の赤字。温室環境制御システムの更新費用四八三万円ほどを支出しているためであり、営業収益としては改善できていますが、設備投資も含め収支改善を図らなければならないと考えています。

**Q** 開設時の国庫補助との関係で様々な制約があり難しい問題が多々あるとは思いますが、花苗の生産拠点としての発展を目指しつつ、施設の有効活用についても考えなければならないと思います。

かつて、太陽光発電やりんごの剪定枝をチップ化した燃焼エネルギーなどの取組が行われましたが、コストの問題などで頓挫してしまいました。この面での今後の方針について伺います。

**A** 花のまちづくりの拠点として、花生産を中心とした農業振興の拠点施設として機能させていきますが、新たな可能性を模索しながら施設の有効活用について検討していきたいと思います。

**Q** 地元農産物を販売する直売所が北部地区にはありません。行政主体でこの施設での直売所の開設は難しいとは思いますが、他機関との連携を模索するなどして、行政が仕組みを作り農業生産者の皆さんに参加してもらうという仕掛けの検討はできないでしょうか。また賑わいの創出という観点から、各種イベントの開催は検討できないでしょうか。かつて地元住民の皆さんがフリーマーケットやコンサートなどを行い、大勢のお客さんを呼びこみ、花苗の販売も盛況だったことがあります。これらイベントの開催を含め、この施設を拠点とした北部地区、農業地域の活性化の可能性について考えを伺います。

**A** 公の施設の指定管理制度の考え方にもあるように、民間の力をお借りし、施設の効果的、効率的な運営を図ることの方が北部地区や農業地域の活性化が図られると思っています。かつて地元住民の皆さんが主体となったイベントや活動こそ真の地域活性化であり、行政としてもそのための可能なご支援と応援はさせていただきたいと考えています。

**Q** 売上増を図る具体的施策として、日時を特定して特売日を設けたらどうでしょうか。売上を期待するだけでなく、広く町民の皆さんに花苗を安く購入していただき庭先で楽しんでいただくということは、花の町づくりを進める大きな要素になり、さらには、地元生産農家の皆さんに野菜や果物の直売をお願いすれば、賑わいの創出の可能性も考えられると思いますが、いかがでしょう。

**A** 売上増に関しては、今まで待ちの姿勢が強かったかもしれません。早くから宣伝し安く売り、同時にイベントなどが開催できれば賑わいの創出にもなり、ぜひ実現したいと思います。

竹内淳子議員

三輪教育次長

# 学校給食における地元野菜の利用状況と供給体制について

## 産業振興課、振興公社及び給食センターと一緒に研究します

**Q** 小布施町の子どもたちが、当町農家の皆さんが作った新鮮で安全な野菜を食べることは心と体の栄養になると思います。当町で学校給食に地元野菜を提供してくれる農家を募集しています。

①以前開催していた地産地消打ち合わせ会議を辞めた理由はなんですか。②野菜を提供しやすくするため、教育委員会と産業振興課が連携して振興公社や生産者に呼びかけて説明会を開催するなどの対策がとれないでしょうか。振興公社が取りまとめの中心になると野菜の持ち込みや保管など有効ではないでしょうか。③昨年の学校給食における地元農産物の利用の割合はどのくらいでしたか。これからはどのくらい利用を上げようと考えていますか

**A** ①打ち合わせ会議は調達などに問題がなく学校栄養教諭が個々に打ち合わせをしているため行っていません。②個別にセンターに持ち込むやり方はハードルが高いので提案のように振興公社が取りまとめの中心になるとハードルが下がり、参加農家が多くなり計画的な生産ができると思います。また、農家への支払額での利用率は7．5％と低いので農業振興や農家所得向上のために支払金額を増やすことが重要で、振興公社を中心とし供給体制の確立に向けた研究を進めていきます。

**Q** センターでは生産者との個別対応が大変で、募集説明会や打ち合わせ会を開く必要があると思うがどう考えますか。供給体制の研究はいつから始めますか。

**A** 説明会を開き農家の希望等を聞きたいと思っています。産業振興課と振興公社とで、一緒に早急に詰めていきたいと思います。

# 猫の去勢、不妊手術（繁殖制限手術）費用への助成について

永井健康福祉課長補佐

## エサやりをしている猫に責任をもつ啓発活動。管理猫に不妊手術助成も可能と考えます

**Q** 広報おぶせで「野良猫にエサをやらないでください」の放送が何回かあり、複数の方から「エサやり禁止は善意でやっている人に対して気の毒だ」「餓死してしまうかもしれない」との話がありました。自己負担で野良猫の去勢手術をしている人もいます。住民と団体と行政が協力し不妊去勢手術やエサの管理などを行う地域猫活動があります。①当町でも決まった時間にエサやり掃除をする、猫に飼い主の住所がわかる首輪をつけるなどの啓発をする考えはありますか。②現在の不妊去勢手術助成金は飼い猫が対象ですが、野良猫も対象にする考えはありますか。

**A** ①猫にエサを与えることは責任を持つという認識を基本に啓発を考えていきます。首輪は、国のマイクロチップ義務化の施行時期を注視し、飼い主を含め自分の猫・管理されている猫としっかり識別できるよう啓発に努めます。

②他市ではボランティア団体が手術助成を受けており、当町でも団体があることが検討の出発点になるが、きちんと管理されている猫は助成できると考えています。

**Q** マイクロチップ装着は健康被害があると言われているがどう考えますか。当町でも野良猫に対しても、不妊去勢手術助成金の助成をする事で、保護活動の支援になるが、どう考えますか。

**A** マイクロチップの装着の義務化については、今既に飼われている犬猫は「努力義務」となっていますので、今後の動向を注視し、具体的指導について検討してまいります。野良猫の不妊治療助成は、そのあり方を検討します。

福島浩洋議員

# 飲料水、低区配水池（雁田）更新計画実施について

## 久保田副町長　令和2年12月に竣工の予定　更に安心の飲料水を提供してまいります

**Q** 配水池は現在、低区・中区・高区の3区に分かれているのはなぜでしょうか。

**A** 全町へ自然流下により安定供給をしております。高区は水上と雁田の自治会などへ、中区は千両とクリトピアの自治会などへ、低区はこれ以外の自治会へ供給しています。

老朽化の低区配水池更新計画予定地

**Q** 今回は、なぜ低区が更新対象なのでしょうか。また、高区・中区の更新は。

**A** 一般的に耐用年数の基準は、60年となっております。昭和3年・26年の建築年で更新の必要性と緊急性が高いこと、更に積立金財源として更新事業が可能となったことからです。また高区は昭和53年に中区は昭和62年の設置です。今後の対応も十分検討していきます。

**Q** 実施計画において最高予定価格5億5千万円とのこと、その内容と工事発注方法はどうなっていますか。

**A** 「低区の有効容量2千㎥以上」で機械設備等の付帯工事など総合的に検討する中で予定価格と設定しました。発注方法は、設計と施工、一括発注方式の公募型で企画提案を採用するプロポーザルとしました。

**Q** 工事期間中は町民の飲料水の安全安心は大丈夫でしょうか。

**A** 現在の低区配水池に隣接する東側の土地に新たに建設するため心配はありません。ただし令和2年12月の切り替え時に支障が想定されますが、できる限り出ないよう対応してまいります。

**Q** 現在の前面道路と隅切り部の拡幅要望があるが施工中の対処は出来るのでしょうか。

**A** 今回の更新事業には解体は含まれていません。今後検討しますが、町全体の道路整備を進める中でも必要か否かを検討いたします。

**Q** 現在の西側にある配水池敷地の土地利用計画の考えはありますか。

**A** 更新計画事業の具体的な内容が決まりましたら、再利用のことも踏まえてよく検討してまいります。

更新計画地、西側の敷地

拡幅の要望が出ている前面道路と隅切り部

大島孝司議員

# 「小布施町公共施設等総合管理計画」の進捗状況は

## 中條財務課長　「個別施設計画」の原案を策定しました

**Q** 小布施町も少子高齢化、人口減少が進み、保険医療などの扶助費や公共施設の老朽化による管理費が増加して、財政状況の悪化が心配されます。

公共施設の縮減、廃止、統合化、長寿命化なども必要となってきています。公共施設全体を効果的、効率的に運用していくため「小布施町公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定しました。

その年の9月に「小布施町公共施設等総合管理計画の速やかな実践を」ということで一般質問をさせていただきましたが、この2年間で、その計画がどこまで進められたのか、進捗状況について質問いたします。

①具体的な縮減数値目標は。

②個別施設計画の対象施設は。

③個別施設計画を策定した中で廃止、統合となった施設は。

④ハイウエイミュージアムをスポーツコミュニティーセンターとして民間に指定管理をした結果、一般財源から1800万円歳出していたものが、翌年度決算では190万円でありました。指定管理にしたことにより、一般財源の歳出削減に大きな効果がありました。他の公共施設においても指定管理に移行すべき施設があると思われますが、検討の結果は。

⑤「総合管理計画」によると建物施設を全て更新する場合、40年間で260億円、年6.5億円、インフラ施設を全て更新する場合、40年間で250億円、年6.2億円必要になるとあります。健全で持続可能な町政運営を進めるためには、この経費をいくらに抑えればいいのか。個別施設計画を策定し、今後必要な経費を算定していくとのことでしたが、算定結果は。

⑥総務省が有利な起債制度「公共施設等適正管理推進事業債」を創設しましたが、見解を問います。

**A** ①縮減目標については、具体的に何％とは定めていませんが、小布施町人口ビジョンに基づき、2040年に9543人程度の人口維持を前提としています。

②「小布施町公共施設個別施設計画」を作成しました。対象施設は、公営住宅を除く公共建築物で53687㎡で132棟を対象にしています。施設は(1)文化系施設、(2)スポーツ、レクリエーション施設、(3)子育て支援施設、(4)保健・医療施設、(5)公園、(6)学校教育系施設、(7)社会教育系施設、(8)産業系施設、(9)保健・福祉施設、(10)行政系施設、(11)その他の施設類型に分類して検討を進めてきました。

③個別施設計画は原案の段階でありますので、廃止となった施設、統合となった施設については、具体的な答えは今の段階ではできません。

④他の施設の指定管理については、「公共施設等管理検討会議」を開催し、指定管理に移行すべき施設等を検討していきます。

⑤今後必要な経費の算定結果については、建物施設で40年間の維持・更新コストを130億円、年3.2億円と試算しています。

⑥来年、再来年と、この事業債の対象となるような集約化・複合化事業、長寿命化事業は予定しておりませんので、今のところこの事業債を活用することは想定していません。

指定管理により歳出削減となったスポーツコミュニテイーセンター

小林一広議員

畔上建設水道課長

# 高齢者ドライバーに向けた取り組みは

## 安全装置の普及状況や他市町村での対応等を踏まえて検討してまいります

**Q** 近年、高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が頻繁に起きております。

高齢者になると股関節等が硬くなることにより、踏み間違えてしまってもパニックに陥り大きな事故につながっております。

高齢者による事故を未然に防ぐことの大切さは、地域住民や子どもたちを事故から守るだけでなく、本人の家族を守るためにもとても重要と考えます。

①小布施町での高齢者の事故は。

②当町での高齢者ドライバーに対する対策は。

③東京都のような補助金の検討対応を。

**A** ①平成29年は33件中12件。30年は32件中17件。本年は、8月末で14件で5件が高齢者に関係する事故です。

②年4回実施の交通安全運動を通じ、安全運転等の周知、体験型の研修を行っている。

③安全支援装置は、支援状況や他市町村の対応を踏まえて検討したい。

**Q** 高齢による股関節等が硬くなることが原因なので、小布施町独自で補助対応してはどうか。

**A** 体験型の運転研修を通じ、補助制度が必要か判断したい。

冷房経費がかかる北斎ホール

竹内総務課長・副町長

## 現在の非常用電力の状況と庁舎への活用について

### 平成8年に設置したディーゼルエンジンで対応。自然エネルギーの非常電源の設置計画はない

**Q** 2011年3月11日「東日本大震災」自然再生エネルギーを含めエネルギー関係において変化、進展が見られます。長野自然電力による水力発電も稼働しました。公共施設において「時すでに遅し」の感がありますが、屋根貸しも行われます。

そんな中、高山村の役場庁舎に環境省の補助事業で庁舎に太陽光発電を設置するとの記事が須坂新聞に出ておりました。この事業の趣旨は、「平時は、地域の低炭素化を実現し、災害時の発電・熱・電力供給等災害時の事業継続性の向上に寄与するシステム等を導入する」事を目的としており国庫補助3／4の事業です。

高山村は、この事業導入で役場庁舎の使用電力の3／4を賄い、非常用電力として蓄電池設備を2台設置、合わせて空調設備5台とLED照明70灯が導入されます。

①現在の庁舎の非常用電力の状況は。

②屋根貸しの非常用電力の規模・容量は。

③高山村が取り入れた環境省の補助事業の導入計画は。

**A** ①平成8年に事業費2700万円で整備したディーゼルエンジンによる非常用電源で当面対応している。

②6施設が対象、総合体育館で49・5KW。生活支援ハウスで11KW。

③防災と町づくりから検討の余地はある。

**Q** 北斎ホールの冷房使用時に庁舎の冷房が止められている現状は。

**A** 北斎ホール使用時には、30分間隔で庁舎との冷房の切り替えを行っている。



# 議会日誌

## 視察 研修会

## 委員会 活動

### 視察来町市町村

○七月二十四日
埼玉県白岡市議会　11名
・図書館事業全般について

○八月五日
鳥取県湯梨浜町議会　7名
・議員なり手不足の解消の取り組みについて

○八月六日
新潟県糸魚川市議会　12名
・図書館、町並修県事業などの町づくり全般について

○九月二十六日
秋田県横手市議会　12名
・議会政策立案常任委員会の活動、議員なり手不足検討委員会について

毎年多くの議会から視察研修に訪れて下さり当町にとっても学べる良い機会です。

### 国道403号整備促進期成同盟会

**七月十七日**
**長野市生涯学習センター**

○一般国道403号線の整備促進に関する事業内容の承認、県・国への要望書を提出

当町は上町、中町、伊勢町における交通安全対策の促進を要望

### 千曲大橋兼同建設促進期成同盟会

**八月二十三日**
**須坂市メセナホール**

○新たな橋梁、千曲大橋の早期事業化を要望。千曲川の村山橋と小布施橋の間は約5・5Kmあり、その中間に橋梁の建設を必要と要望。

### 豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会

**八月二十三日**
**高山村役場**

○長野市豊野・小布施町・須坂市・高山村・山ノ内町までの国道292号実延約34kmの広域幹線道路の安全で円滑な道路交通環境に向けての要望

### 篠井川改修促進期成同盟会

**八月二十七日**
**中野市役所**

○篠井川延徳沖、都住沖、篠井川沿線の住宅地を水害から守るため、篠井川未改修地域の早期改修の促進を要望

### 町村議会広報研修会

**九月二十四日**
**東京砂防会館**

○皆さんに手に取って読んでいただける「広報」を目指して、議会広報委員5名参加。講師の話は「目からうろこ」、今後の議会だよりに活かしていきたい。

### まちづくり委員会との懇談会

**九月二十六日**
**小布施町役場**

○「人口減少問題から将来の小布施町を考える」をテーマに様々な問題について参加者全員が意見交換を行う。共に小布施町が大切にと思う気持ちが伝わり、心強く感じた。

### 町村議会改革シンポジウム

**十月七日**
**宮田村民会館**

○23町村議会がお互いの議会の取り組みの現状と課題を共有して、様々な情報交換を行いました。